

多くの仲間とともに現在を変え未来を創造するために 2015 年 10 月

KSKQ ファースト・ラン NO.95

(2014 年度大阪府輝く新星発掘プロジェクト入選作品)
(「アール・ブリュットの新しい星たち 2015 展」に出品)



『かさごと海の仲間たち』
近藤 光氏
こんどう ひかる

スタッフリレーコラム～こんなメンバーであんじょうやってます～

『50 才半ばで思う事』

私も当法人に勤務して 20 数年の年月となります。

障がいを持った人とどのように接していけば良いのか？どのような支援をすれば良いのか？その時々で考えてきた 20 数年でもありましたが、今思う事は障がいを持った人と…ではなくひとりの人に対してどのように接していけば良いのか？という思いになってきました。その上で、私自身も成長しなければ良き相談相手だったり、時には良き友人にはなれないと思っています。人としてお互いが信頼し合えたり、楽しんだり、尊敬し合えたりする人間関係を築く事を大切にしたい。これって人が生きていく上で大切な事ですよね。数年前から時々、思い起こす言葉があります。

心が変われば態度が変わる。態度が変われば行動が変わる。

行動が変われば習慣が変わる。習慣が変われば人格が変わる。

人格が変われば運命が変わる。運命が変われば人生が変わる。

かじわら ふみ お
(梶原 文雄)

グループホームで暮らす in 箕面

「グループホームに入るチャンスがあるなら、
体験入居してからでも遅くありません！」

今回は当法人のグループホーム結に今年の春に入居して暮らしている井窪 駿 さん(20 歳)の登場です。実家暮らしからグループホーム暮らしに変わった心境や参加している劇団活動の事などを綴ってもらいました。どうぞご覧ください！



こんにちは、今回記事を書かせて頂く井窪駿です。僕は3才の時に病気になりました。今の僕がいるのはその時に飼っていた兄みたいな存在の犬が代わりに死に今の僕がいます。その犬が僕に生きるチャンスをくれたんだと思い感謝しています。そして小学校の頃に弟が産まれました。僕は引っ越しが多くいろんな友達やいろんな人に支えられてきました。箕面に来てからも先生や友達に迷惑をかけて

きたけど、迷惑かけながらも支えてくれる先生や友達がいるのは幸せです。高校の半ばぐらいから、「さんかくひろば」と言う放課後デイに行きだしました。そこでもスタッフの皆さんが応援してくれて嬉しかったです。そこには俺の顔を覚えていたスタッフもいました。特に一番厳しくしてくれた川上 さんや池間 さんのお兄ちゃんや森山 さんや池間 さん、細谷 さん、賦句 さんやその他諸々のスタッフに感謝しています。

高校を卒業し箕面雇用支援センターに入り、訓練生のリーダーシップを取りました。今年の6月から、阪大の豊中キャンパスの「豊中多様な人材支援室」に就職をし今そこで働かせて頂いています。さんかくひろばでは「劇団でこじるしー」をつくり西南図書館を始め、それから色々な場所でやらせて頂いています。団長も僕がしています、台本を書きダメ出しされても頑張っているんです！サークルわてらと言うところでも会長をしています。今年の劇は10月10日はメイプルホールの小ホール

「劇団でこじるしー」情報！

今回、コラムを書いていただいた井窪さんが所属している「劇団でこじるしー」の公演情報です！

劇団でこじるしー第5回公演「でこじるしーVS 紙芝居(人と本を紡ぐ会)」

でこじるしーの作品「ボンバーソウル」

- 日時 10月10日(土)
- 受付開始・開場 13:30～
- 開演 14:00～(14:00～人と本を紡ぐ会 15:00～でこじるしー)
- 場所 箕面市立メイプルホール 小ホール
- 入場無料



「ボンバーソウル」あらすじ

ダンスチームの全国大会を目指すリュウヤの前に現れたのは、お金の力で世界を変えようとしているあくどい親子だった。ひよんな事から正義の味方ボンバーソウルとなったリュウヤは、人々を救うために立ち上がる。なんでも食べられる少年、特殊な力を持つダンサー、エスパー、母を亡くした貧しい兄弟、世界一の大富豪の親子、謎の女……様々な人々を巻き込みボンバーソウルが陰謀に立ち向かう。お金より大事なものは何か…世界の運命を賭けたマネーバトルが幕を開ける。

でこじるしープロフィール

でこじるしーは2013年9月に旗揚げした、地域交流センターさんかく広場発の劇団です。コンセプトは障害のある人もない人も集まって一つの演劇作品を作ろう、というものです。元々は放課後等デイサービスのさんかく広場の卒業パーティーで行った寸劇をスタッフと子ども達と一緒に作り、その時に思いの他みんなが一生懸命に取り組んで、子ども達から「次はいつやるん？」の声からさんかく広場の利用者とスタッフの有志、地域の方で結成されました。現在は旗揚げ当初の利用者が卒業生となり参加。新旧入り混じった様々なメンバーで活動しています。これまでに「ワンピースショー～ジ・エンド・オブ・ザ・ワールド」「仮面ライダーVS ゾンビ軍団」「拳法学園」を上演。



結(グループホーム)では女性入居者の増員を予定しています。

2003 年 4 月にケアホーム※ 結(ゆい)を開所しました。当時は男性 2 名・女性 2 名の入居者でした。その後女性入居者が退居して 2 名の男性が入居。2010 年に男性 2 名を 2012 年に男性 4 名を増員して現在は男性 12 名となっています。

結では、入居者一人ひとりがその人らしく自分で自分の生活を決めることを基本として、地域であたりまえに暮らすこと、また個性や生活にあわせて自分で自分の生活をつくっていくのを自分で決めることを大切に考えて運営しています。具体的には、夕朝食作り以外は入居者自身が行って生活をしています。もちろん、経験がなかったり障害があり出来ない事は世話人が支援をして生活をしています。経験を積み、出来る事が増えると何に対してもやってみよう！と行動が変わります。行動が変われば習慣が変わります。今までと違った生活環境は、確かに疲れるしストレスを感じる事は当然ですが、その事が入居者の新たな一面作りに繋がっていると思います。

昨年末から近隣市町村の相談支援事業者から「女性入居者の空きはありませんか？」との問い合わせが 5 件程あり、当法人の相談支援事業 ライフタイム ミントにも女性入居者の相談がありました。現在、箕面市内のグループホームは、男性の入居者定員が約 100 名程、女性の入居者定員が約 50 名程となっています。(結調べ) 今回、女性入居者を新たに増員する事で、男性も女性も対応できるグループホームとして結の今後の展開に繋げていきたいと思っています。

今後の予定としては、新規職員の採用・入居者の住む物件探しを行い、今年の 12 月頃には公募による入居者の募集・選考を経て 2016 年 4 月には女性 4 名の増員開所を予定しています。12 月^{ごろ}頃には、入居者向けの募集要項を作成し各障害者団体及び箕面市障害福祉課等を通じて配布する予定となっています。入居を検討される方やグループホームの事を知りたいと思う方、もうしばらくお待ちください。

お
雄)

かじわら ふみ
(梶原 文)

※開所当時はケアホームでしたが、法改正によりケアホームとグループホームが一元化され、平成 26 年 4 月からグループホームになりました。

人とつながる 支えあう

～障害があっても自分らしく暮らすために～

わたしたちは地域で共に暮らす仲間をサポートしています

ちょっと興味があるけど自分にできるかな？

面白そうだけど他に仕事があって・・・

資格持ってないし・・・資格はあるけど・・・

『自分らしく暮らす』とは『何気ない日常生活』のサポートなんです

資格がない方でも条件が合えばサポートできます

あなたのライフスタイルに合わせた働き方

例えば 早朝のみの勤務

夕方・夜間のみの勤務

土・日・祝のみなどなどご相談に応じます

当法人は 1993 年に障害者の「地域での自立生活」「地域で共に暮らす」理念のもと設立しました

NP0 法人

箕面市障害者の生活と労働推進協議会

〒562-0001

大阪府箕面市箕面 4-8-30

TEL 072 (723) 3342

FAX 072 (723) 6506

E-MAIL JDW07270@nifty.com

カエルのうた

其の 10～深く反省



車イスに乗るようになって 10 年以上経つのに、いまだに車やバイクを運転している夢を見る。それも警察に止められた場面が多い。

昔 50CC のバイクは、ヘルメットの着用が義務付けられていない時代があった。だから夢の中では平気にノーヘルで走っている。しばらく走り回って、ふと今はノーヘルが違反だと気付く。気付いた時に何故かパトカーがやって来て、捕まったところで目が覚める。ノーヘルで捕まったことなど無いのに不思議だ。

踏切の一旦停止で捕まった場面も良く見る。車の免許を取ると、おまけで 50CC のバイクにも乗ることができる。だから免許を取ってすぐはバイクばかり乗っていた。ある日踏切を渡った時、突然マイクで呼び止められた。一旦停止もしたし、自分としては何事かわからない。おまわりさんに事情を聞くと、きちんと一旦停止していなかったらしい。自分としては一旦停止をしたつもりだったが、もっとしっかりと止まらないといけないということだ。その時は免許を取って初めてのことで、かなりショックが大きかった。

はっきりとした地名は覚えていないが、国道一号線に右折して入ったときもパトカーに呼び止められた。これは明らかに右折禁止の標識を見落としていた。パッと見た感じ幅の広い道路だったので、右折を禁止している道路には見えなかった。いつもそうだが止められた時は本当に後悔する。そして目が覚めた時は本当にホッとする。

兵庫県の尼崎を走っていた時にも止められた経験がある。そこはゆるやかな上り坂になっているので、自然にアクセルを踏み込む。そのままの状態を下り坂を進むと、思った以上にスピードが出る。坂を下りきったところでまたも呼び止められる。心の中で「ウッ」と叫んでしまう。が、「時すでに遅し」だ。何キロオーバーだったかは忘れたがスピード違反だ。自分では普通に運転していると思っているだけに辛い。今でも夢に見るくらいだからかなりのショックだったんだろうな。

考えてみると止められたほとんどは、免許を取ってから 2 年 ^いない 以内 だったように思う。やはり教習所で習うのは車の動かし方だけで、「運転は外に出て覚えられるんだ」と後になって気付かされる。まっ、反則金は高い授業料だと思うしかない。大事故を起こさなかったことが幸いだ。車というのは、鉄のかたまりが走っているのだから危険この上ない。だけど運転しないと生活が出来ない人が居るのも事実だ。昔、免許証の裏が真っ赤だった自分が言うのも本当にオコガマシイとは思いますが、凶器を動かしているんだという気持ちでハンドルを握るべきだと思う。

今回のカエルのうたは深く反省の巻でした。

(武藤 芳和)

◎ 当法人のご案内 ◎

当法人では電話・FAX・Email・blog・来所・訪問等様々な方法で相談・支援を受け付けています。



【編集後記】

- ・お酒の飲み過ぎで二日酔いで編集してしまいました…反省…。でも、書いていただいた内容は充実しています！原稿作者に感謝！（職員K）
- ・独学で覚えてきたパソコン。基礎から勉強し直したいです。時間短縮のために……。不足しがちな時間は捻出するしかないと思ったのです。覚えるべきことが山積しています。（職員B）
- ・紅葉のシーズンは毎年京都へ…と言いつつ去年は湯豆腐会席、お寺の境内でお抹茶と和菓子、ほうじ茶パフェまで食べ何がメインかわからない1日を過ごしました～(。_。)(職員KK)

編集／特定非営利活動法人 箕面市障害者の生活と労働推進協議会

〒562-0001 大阪府箕面市箕面4丁目8番30号 電話072-723-3342 FAX072-723-6506

E-mail:JDW07270@nifty.com 郵便振替 00990-4-116066

発行人／関西障害者定期刊行物協会 大阪市天王寺区真田山2-2 東興ビル4階

一九九一年九月三日 第三種郵便物認可 毎月(1・2・3・4・5・6・7・8の日) 発行 定価百円